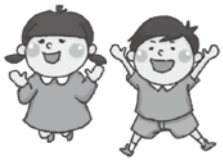
info 10

「子どもの育ちと学びを未来につなぐ」
湯沢市の「架け橋期」の取り組みを紹介します！



県では、将来の秋田を担う子どもの成長を願い、すべての子どもが質の高い教育・保育を受けられるよう努めています。

「架け橋期」とは、義務教育が始まる前後の「５歳児から小学校１年生まで」の２年間のことであり、子どもの生涯にわたる学びや、生活の基盤をつくるために重要な時期です。

市でも、架け橋期の教育の充実を目指して、幼児教育と小学校教育の連携を進めています。幼児期の「遊びを通した学びの芽生え」を、小学校での学習へ円滑に接続できるようにするために、就学前教育・保育施設、小学校、ご家庭、自治体など、子どもに関わる大人が連携・協働して、子どもの成長を切れ目なく支えていくことが大切になります。

秋田県人口戦略部・秋田県教育委員会
「就学前教育・保育 理解啓発リーフレット」

湯沢市幼・保・小連絡会議

平成19年から、市内の就学前教育・保育施設と小学校の先生方で、湯沢市幼・保・小連絡会議を組織しています。

各地域の課題を共有するとともに、 その課題の解決に向けての方策を話し合ったり、小学校区（ブロック）単位で授業や保育の参観、職員の交流などを行ったりしています。

「湯沢市架け橋研修会 ～幼保小連携キックオフ～」を開催しました

８月６日㈭、市内の幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の職員62名が集まり、標記研修会が開催されました。

研修会では、県こども支援課の戸部俊和（とべとしかず）氏を講師に迎え、子どもの主体性を育む取り組みについて学びました。その後は「つながろう、つなげよう、湯沢っ子」をテーマに、子どもたちの具体的な遊びや学びの姿を思い浮かべながら、熱心な意見交換が行われました。

参加者の感想

幼稚園や保育園の先生方の実践から、子どもが主体的に取り組む環境づくりや、みんなで達成感を味わえるようにすることなどたくさん学ぶことができました。

市では、子どもたちが安心して新しい環境へ向かい、
意欲を持って成長していけるよう、
今後も園と学校のさらなる連携・接続の充実に努めていきます。

問 学校教育課指導班（☎73-2162）、子ども未来課児童福祉班（☎78-0166）

耳より情報 広報ゆざわに掲載された写真を「本人または家族」にプレゼントします。詳しくは本紙22ページをご覧ください。